

## 環境建設工学科 在学生の声



高岡 真実（たかおか まみ）さん

出身県・高校：愛媛県・愛媛大学附属高等学校

コース：社会デザインコース

本人（右）

学年：1回生

### 社会デザインコースの志望理由

---

私は、松山市消防に勤務している父の影響で防災に興味を持っていたことに加え、南海トラフ巨大地震がいつ起こるかわからない今、防災や減災についてしっかり考えていく必要があると思っていました。そこで、環境建設工学科のオープンキャンパスに行きました。自力で修復できる微生物を用いたコンクリートを見たり、どのくらいの振動で建物が揺れを感じるのかを体感したりしました。他にも様々な分野に分かれてブースがあり、環境建設工学科という一つの学科でこんなにも幅広いジャンルを扱っているのかという驚きと、一つの分野に縛られず幅広いジャンルの学びが得られるこの学科なら、

将来の可能性も自分の可能性もさらに広げることができるという確信が自分の中で生まれました。

しかし、私は高校では文系でした。数3はもとより物理すら履修していませんでした。そんな時、工学部で唯一の文理融合コースである社会デザインコースの存在を知りました。理系科目だけでなく、これから大切になる英語にも非常に力をいれているため留学プログラム等も充実しており、座学の授業だけでなく、郊外へ足を運び自分の目で見て触れて学ぶフィールドワークも授業に取り入れられているので、様々な方面から多種多様な学びを吸収でき、これから社会へと羽ばたいていくために必要な学びがそろっていると思いました。

私は推薦1で受験しましたが、私の熱意が伝わったのか見事合格！現在、授業面では多少苦戦していますが、周りの友達に支えられながら頑張っています！

## 将来のキャリアパスについて

---

将来は防災に携われるような仕事に就き，市民の防災意識の向上を図りながら災害からの被害を最小限に抑えたいと考えています。いざ被災者となった際に自分が率先して行動できる知識を持った，そして心のケアをもできる即戦力の防災リーダー，サーバントリーダーとして社会に必要とされる人材となって活躍できるように，4年間しっかりと座学や実践に取り組んでいきたいです。

## 頑張っていること

---

私は，高校3年生のときに付属高校の高大連携科目の一環である課題研究に取り組み，地震火災延焼シミュレーション・システムを用いた研究（二神研）を行いました。自宅周辺で火災が発生した場合，最も延焼面積が大きくなると予想される場所の特定や火災が発生した時の避難所までの最短経路にかかる時間などは導くことができたものの，多数の人が避難する場合や，実際に起こりうる複雑な条件での実施には

至らないまま終了してしまったことがとても悔しかったです。機会があれば研究を完成させ、実際に地元地域に発信するという目標への第一歩として、防災についてこれからも調べていきたいと考えています。また、この研究成果について工学部代表として愛媛大学で発表させていただく機会をいただきました。



課題研究発表会の様子

## 受験生の皆さんにメッセージ

---

自分の住んでいる街をよりよくしたい，都市・地域をデザインしたい，生態を保全したい，橋や道路を作りたい，防災について学びたい，地盤工学について学びたい，大気・水について学びたい…まだ進路選択に迷っている方にもおすすめします！幅広い分野を扱うこの学科ならあなたのやりたいことがきっと見つかりますよ。私と一緒に夢を追いかけましょう！